



スポットエアコン 設置の考えは

馬淵 紀明議員

種類や手法を含め、進めていきたい
教育部長



▲体育館に設置されている空調設備の例

問 市内の全公立小・中学校の体育館にエアコンを設置した場合、費用は。

答 体育館の空調設備設置方法は多種多様のため、費用を算出することはできないが、文部科学省が示す事例を基に、エアコンが未設置な17校の体育館における空調設置・断熱改修工事費の合計額を算出すると、最低額が4億7600万円、最高額が19億2100万円となる。

問 空調設備は幾つかの種類や手法があるが、スポットエアコンの調査、また設置の考えは。

答 本市も資料収集やデモ機による動作確認をしている。体育館の空調設備は、空調設備の種類や手法を含め、他自治体の事例を参考に導入に向けた準備を進めていきたい。

新たな情報伝達手段の検討は

問 平成30年12月議会の一般質問で、市当局に近年の災害の教訓を無駄にせず、災害時の新たな情報伝達手段をお願いしたが、検討しているのか。

答 新たな手段は検討していない。

問 検討していない理由は。

答 既に多様多様な情報伝達手段があり、市民には複数の情報入手手段を確保するという意識をさらに高めてもらうため、防災メールや公式SNS等の登録についての周知を引き続き行っていく。

問 令和5年3月、消防庁防災情報室の災害情報伝達手段の整備等に関する手引には、「近年の水害や土砂災害においては、

避難指示や防災気象情報等が住民に対して十分に伝達できていない。大雨の際には屋外からの音声が届かぬなど課題がある。このような場合でも高齢者や障がい者等、災害情報が届きにくい方々へ、情報伝達については特に考慮するべきである」と書かれている。こうした方々に対して、新たな情報伝達手段を検討していくべきではないか。

答 考えていない。市民が避難のきっかけとなる災害情報を入力してもらうよう、既存の情報伝達手段の多様化・多重化を図っていく。

その他の質問

●シニアプロモーションの考えは

●健康づくりの推進は